

第27回

オンライン読書会 (12) (ZOOM)

<参加できる阿佐ヶ谷婦人公論読書会> 「おんなどおとこの工夫 生涯を連れ添うために」

2021.6.20 開催

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、
オンライン読書会を開催しています。

★ テキスト・テーマ：

- 全国大会からの公開読書会でより特別編
長谷川理事長 家族カウンセリングの人間観 個人と家族
家族療法の必要性 見方、リマリッジへの提言
- 悪循環の恋の詩⇒ 好循環の詩への変換を考えよう

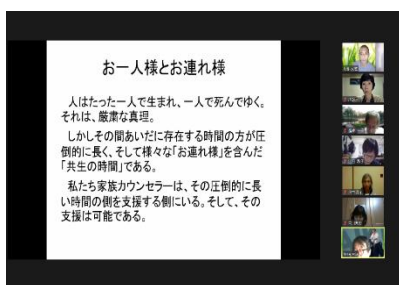


★ 参加者 : 9名 (女性5名、男性4名)

★ 参加者の感想

昼間の全国大会に続く「夜会」としての読書会。

主催された長谷川先生の意気込みがにじみ出たプレゼンテーションから始まりました。先生は初めて参加された方も意識され、日本での家族カウンセリングの歴史から紐解き、個人だけに焦点を当てたカウセリングから、人間の社会性に注目した他者との交わりでの関係性に注目するカウンセリング手法としての画期的な解説に進みました。



そしてこの読書会が、家族カウセリングの核となる夫婦関係、特にセクシャリティーの議論も率直に出し合うことができる先生ご自身も和める会であることも語られていました。

私は二度ほどの阿佐ヶ谷の会合の後には、オンライン形式の会の方が多くなっていますが、先生がおっしゃるようになかなか微妙な個人的な体験さえも話題にできる会と感じております。

次に前回紹介された「恋心の負のスパイラル」を表現した詩から発展し、新たにフランス語の詩の紹介を原語で朗読され、音感を含めて味わう機会をいただきました。恋心の不思議さについての命題を整理し、失恋などの伴うネガティブ反応をするクライアントにその思考から脱出して、心の好循環を起こすことに役立つ著名人や古典の命題を紹介していただきました。その後与謝野晶子などの文豪の恋愛心理文、瀬戸内寂聴や、谷川俊太郎、ボブ・ディランなど著名人の恋愛について見方を引用し、恋愛結果の成否よりも恋愛心理を生み出す生命力に注目することを語れました。

その後改めて前回の「恋心の負のスパイラル」を表現した詩に触れました。

前は参加者それぞれの経験に照らし合わせてみて、この詩の展開のようなあったかどうかを参加者に問いかけがあり、その際私は詩のある部分について共感する意見をもっていると言いました。そこで触れた昔のエッセイに関連し、改めて詩を書きました。私の詩の中にあるいくつかの部分で長谷川先生が指摘された「自分と他者の関係」、「他者に投影させる自分が表現できていたのではないか」と思い嬉しくなりました。

最後に、私の詩以外にお二人の方の詩の紹介がありました。長谷川先生も詩を披露され、読書会が詩の鑑賞会となった感がありました。次回はしっかりとそれぞれの作者の方の朗読でじっくりと味わう会になると良いと思いました。

会はLINEでグループを作っています。

終了直後から参加者からの感想トークが次々に寄せられました。「改めて、人を想うことの業の深さや深さに気づきました」、「今日の内容を多くの方に聞いていただきたい」、「情熱っていいですね」と、そして詩については「人との関係の中で生きている自分、皆様の想いがほとぼしる詩にしばし余韻に浸りました」との感想、長谷川先生は『好循環の詩、失恋軽症化の為の詩、不死身の回復詩』の課題は少し続けたいくらいです」と読書会がより羽ばたきを強めたことへの喜びを込めて閉会直後のトークに発信されていました。

今回の読書会は私にとって詩を書くことの楽しさを10数年振りに味わえたこと、そして詩の意味を仲間の方にお話しする機会を得れたこと、さらには次の詩への創作意欲を沸かせてくれる収穫がありました。
(家族支援士 進藤一俊)



<オンライン読書会はいかがでしょう？>

阿佐ヶ谷の洒落たお店でのお茶☺は、しばらくおあずけですが、
長谷川理事長のご講義が画面から溢れてくるオンタイムのゼミナールもまた必見！
夫婦生活につまづいている方はもちろん？円満な方やおひといさまのお知恵も拝借しながら、おんなとおとこが添い遂げる工夫を、家族カウンセリングの視点から学び合しましょう。協会員なら、どなたでもこのオンライン読書会にご参加できます。



★次回は第28回 7月 21日(水) 20:30 ZOOM開催です。

毎回 理事長ご提案のテーマで話し合います。

会員の皆さま、奮ってご参加くださいね！

<会員限定>

オンライン読書会（ZOOM）に参加ご希望の方は➡の
QRコードに（森友ラインあて）、お手持ちのスマホで
カメラをかざして繋いでください。



「参加できる阿佐ヶ谷婦人公論読書会」グループラインに招待させていただきます。

- ★今後の阿佐ヶ谷のカフェでの読書会は本協会の対応に準じて開催していく予定です。
しばらくはオンラインを使って読書会を継続していきます。
何卒、ご理解、ご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。